

○稲田議長 次に、門脇議員。

〔門脇議員質問席へ〕

○門脇議員 会派自由創政のやる気、元気、門脇の門脇一男でございます。どうぞよろしく願いいたします。昨日の戸田議員の代表質問に関連しまして、私のほうからは、大要2点の質問をさせていただきます。

まず、大要の1点目は、ねんりんピックはばたけ鳥取2024についてであります。

ねんりんピックは、60歳以上の高齢者を中心とする、スポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典であります。戸田議員の代表質問にもありましたように、今年は鳥取県で初めての開催予定となっております。10月19日から22日までの日程で、県内の19の市町村で合計29種目が実施され、全国から総勢1万人の選手、役員等の参加が、そしてまた、観客を含めた参加予定人数は延べ40万人が見込まれると伺っております。本市においては7種目の実施に加え、健康づくり教室などが開催予定となっております。

そこで、大会の成功はもちろんのこと、本市においてはどのようなおもてなしを行うのか、また観光や宿泊へどのようにつなげていくのかという観点から質問をさせていただきます。

まず初めに、令和5年度の文化観光局の重点課題と目標の中の一つに、令和6年度鳥取県で開催されるねんりんピックについて、本市の実行委員会を立ち上げ、プレ大会の実施、実施設計作成など、翌年度の大会開催に向けた準備を着実に進めると、こうありますが、この課題と目標は達成できたのかどうかお伺いいたしま

す。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 ねんりんピックの令和5年度の取組についてでございますが、4月12日に米子市実行委員会の設立及び第1回総会を開催いたしまして、大会の基本計画などを作成したところでございます。プレ大会のほうも、剣道とローイングの2種目で実施いたしまして、課題の検証などを行ったところでございます。

また、競技団体との協議を重ねながら、会場設営に係る実施設計業務を2月末に完了いたしまして、今年10月の大会開催に向けて着実に準備を進めているところでございます。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 着実に準備が進められていると、私もそう感じております。

その中で、2種目のプレ大会を実施し、課題の検証を行ったと、こういうことでありましたが、どのような検証結果が得られたのかお伺いいたします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 プレ大会の検証結果についてでございますが、剣道につきましては、6月4日に県立武道館で行いまして、競技会場で試合結果、進行を表示するモニターがあるんですけども、そちらを以前の大会を参考といたしまして70インチ程度としていたんですが、ちょっと小さくて結果が読みづらいということが分かりまして、本番では100インチ程度のプロジェクターとすることといたしました。

また、ローイングのほうは10月15日に錦海のボートコースにおいてプレ大会を開催したところでございますが、本番で実施を予定しております競技風景の映像配信の方法を検証いたしまして、高所作業車を使用した撮影を行い、ボートコースでの競技風景が問題なく撮影できることなど、本番に向けての課題点が確認できたところでございます。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 本番に向けてのプレ大会は、課題検証を行う上でも非常に重要であると考えます。この3月から6月にかけて、県内においてもねんりんピックに出場する選手の選考会が行われるようですので、この選考会においても課題検証を行い、しっかりと本番に備えていただきたいと思います。

次に、ねんりんピックを成功させるには、全市的な取組が必要不可欠であると考えます。そこで、ねんりんピックを盛り上げ成功させるためにはどのようなことが必要だとお考えでしょうか、見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 ねんりんピックを盛り上げるために必要なことでございますが、選手、役員の方のみならず、市民の皆様にもこの大会を知っていただき、大会に様々な形で関わっていただくことが必要であると考えております。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 そのとおりだと私も思います。まずはねんりんピックのことを市民の皆様知ってもらう、ここからがスタートになると思いますが、その周知方法についてはどうされるのかお伺い

します。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 大会の市民の皆様への周知方法についてでございますが、様々な方法を利用して行ってまいります。広報よなごは、4月から毎月ねんりんピック関連記事を掲載いたしましたし、大会直前の10月号では特集記事を予定しております。また、公会堂ビジョン、YYビジョン、Tビジョンなどのデジタルサイネージを利用した広報は、令和5年11月より、毎月継続して実施しているところでございます。また、県とも協力いたしまして、ねんりんピックの大会旗をバトンとしてつなげます全市町村のラリーイベント、4月28日のダンススポーツのプレ大会の会場で行いまして、大会をPRすることとしております。そのほか、市庁舎への懸垂幕の設置ですとか、プレ大会での大会PRを実施いたしましたし、米子商工会議所にも御協力いただきまして、会報誌の「シャンプル」には、4月から1年間、大会が終わった後もねんりんピックの様子を取り上げて掲載していただくこととなっております。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 いろんなところでねんりんピックという文字を目にしたり、あるいは言葉を耳にすることが多くなってまいりました。このねんりんピックののぼり旗も、市役所本庁舎や糺町庁舎で風になびいているのを見かけると、いやが上にもムードが高まってまいります。こののぼり旗であります、ぜひとも各公民館や体育施設等の公共施設にも掲げていただければ、全市的にムードが高まるのではないかと考えますが、見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 のぼり旗の設置についてでございますが、やはり大会の会場だけではなくて、市全体にそういったものがありますと機運というのは盛り上がっていくのではないかと思います。その大会の市民の皆様への周知方法の有効な方法の一つであると考えますので、公民館ですとか体育施設などの公共施設へののぼり旗を設置することにつきまして、設置時期などを含めて検討してまいりたいと考えております。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 このねんりんピックをいかに全市的に盛り上げていくかが次の課題になると思います。のぼり旗の件をよろしく願いたいいたします。

次に、おもてなしについてお尋ねいたします。ねんりんピックを機に、選手や参加者の皆さんを歓迎するのはもちろんのこと、本市のイメージアップを図る観点からも、おもてなしは非常に重要であると考えます。本市のイメージアップを図るにはどのようなおもてなしをすべきとお考えでしょうか、見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 本市のイメージアップを図るおもてなしといたしまして、来県される選手の皆さんにやはり来てよかったと思っただけ、そういったイメージを持っていただくようなものにしたいと考えております。基本的なことではございますが、会場で業務に当たります役員、ボランティアの方々が選手を笑顔でお迎えし、丁寧に対応し、気持ちよく過ごしていただくことが大切であると考えております。大会の前に従事者の方への説明会

を実施する予定でございます、その中でも選手の歓迎、おもてなしの考え方について説明、周知することを計画しております。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 最も大事なものの一つがこのおもてなしだと思っております。

そこで、本市のホームページにも掲げてあるおもてなし事業について、その内容についてお伺いします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 本市のおもてなし事業といたしまして、実施いたします7種目の各競技の会場におきまして、本市の特産品ですとかお土産品の販売、また選手へのドリンクですとか地元のお菓子などの振る舞い、圏域の観光案内などを実施することとしております。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 様々なおもてなしを計画されておりますが、このおもてなしを支えるのがボランティアの力ではないかと思えます。おもてなし事業や選手との交流等にはボランティアが必要となり、昨日の答弁では300名のボランティアを募集するとのことでありましたが、その募集時期や募集方法についてお伺いします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 ボランティアの募集についてでございますが、おっしゃられますように大会期間中に約300名のボランティアが必要となる見込みでございます。ボランティアは、多くの皆さんに参加していただけるように、小学生以上の方を対象といたしますが、小学生につきましては保護者の同伴が必要としてお

ります。募集につきましては、3月中をめどに実施する予定でございます。米子市のホームページ、あるいは広報よなご、公会堂ビジョンなどで周知する予定でございます。

また、競技の応援につきましては、市内の保育園、幼稚園児に会場に展示する歓迎イラストの作製だけではなく、実際に会場に足を運んでいただき、選手の応援をいただくことを計画しております。これはちなみに19園で900人ぐらいを計画しております。そのほか、各会場では競技のほか、ねんりんピックの特色でもあります健康づくり教室ですとか販売コーナーなどを設置することとしております。なお、大会期間中の10月20日には弓ヶ浜公園におきまして市民参加の関連イベントを実施予定でありまして、多くの市民の方に会場にお越しいただきたいと考えておるところでございます。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 ボランティア300名募集とのことでありまして、これは決してハードルは低くないと思いますが、まずはしっかりと300名をクリアして、おもてなしにつなげていってほしいと思います。

そこで、このおもてなしについてはいろいろと計画をされていくところではありますが、答弁にございました、10月20日に行われる関連イベントの内容についてお伺いいたします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 関連イベントについてでございますが、会場の一つでございます弓ヶ浜公園のほうで実施する予定でございます。ニュースポーツの体験会ですとか、米子城バルーンのおふ

わふわドームを設置いたしましたり、会場でのスタンプラリーですとか工作教室などを予定しております、子どもから大人まで楽しめるものとしたいと考えております。

また、各会場の健康づくり教室、物販コーナーなどは市民の皆様も利用することができますので、併せて楽しんでいただければと考えております。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 楽しみなイベントがめじろ押しですので、よい思い出ができるのではないかと思います。

先ほど物販コーナーについての言及がございましたので、次は特産品のPR、配送の受付、飲食、お土産等の販売促進についてお尋ねをいたします。

これに関しましても、本市のイメージアップやおもてなし事業の一環となりますが、一工夫も二工夫もしなければ販売促進にはつながらないと考えますが、見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 本市の特産品のPR、配送の受付、飲食、お土産などの販売促進につきまして、全国から来場する選手のため、各会場にお土産や特産品の販売コーナーを設置いたしまして、お土産の配送についても対応することとしております。また、飲食につきまして、各会場へキッチンカーやそのほか物販などの出店を企画しております、多くの事業者の方にも参加していただきたいと考えております。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 ぜひ、来場者の皆さんへ本市の特産品をPRしてい

ただき、飲食も含めて本市の特産品が全国へと展開されることを期待しております。

そこで、飲食に関連して、本市が現在売出し中であります475パフェ、牛骨ラーメン、さばしゃぶの取扱いについてお伺いします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 今おっしゃっていただきました、475パフェと牛骨ラーメン、さばしゃぶにつきましては、本市の主要な食のコンテンツとしてPRしてまいりたいと考えております。調理の問題で会場での販売はちょっと難しいと考えておりますが、この3つにつきましては、4月に鳥取県が作成し、各県の選手団、関係者に送付いたします開催要項の本市の紹介におきましてPRすることとしております。その中に掲載いたします本市の観光協会のサイトであります米子観光ナビで情報を得ていただきまして、こちらに来られた折に各店舗に寄っていただくことを期待しております。またそのためのタクシーの利用の補助なども考えているところでございます。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 タクシーの利用の補助というのは非常にいいアイデアだと思います。その前にまずは475パフェ、牛骨ラーメン、さばしゃぶのPRに全力投球をしていただきたいと思います。

次に、ねんりんピックは、米子市を売り込む絶好のチャンスであります。具体的にはどのようなことをお考えなのかお伺いします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 本市を売り込みます具体的な方法につきましては、先ほどの鳥取県が作成する冊子への掲載をいたしますほか、会場におきましても米子市実施種目の選手の皆様に米子の特産品や観光パンフレットなどをセットにいたしました記念品を配付いたしますとともに、米子の特産のお菓子ですとか果物などを振る舞い、本市の魅力を知っていただくことを考えております。

また、食につきましても本市を売り込む大切な要素であると考えておりまして、米子駅周辺の飲食店マップを作成いたしまして、宿泊する選手が本市の食の魅力を知っていただくのに役立ててもらいたいと考えております。

また、先ほども申し上げましたが、選手の市内タクシー利用の補助ですとか、日帰り温泉施設等の観光施設への選手特典などを計画しておりまして、観光情報の提供とともに出かけてみたくなるような、そういった仕組みづくりを検討しているところでございます。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 率直にすばらしいなど、そういう感想を持っております。

このたび、県のねんりんピック事務局に確認をいたしましたところ、米子市は県内市町村でも最も多い7種目の競技を開催していただくことだけでなく、その実施体制や独自PRなど、県内トップクラスの取組で大変感謝していると、こういうことでありました。本日ここまでのやり取りを聞いたり、私も言ったりしておりましたけども、非常に納得できるものでありましたので、これからますます頑張っていただきたいなと思っております。

そこで、次ですが、米子市を売り込む方法として、観光面から提案したいことがございます。このことは、滞在の延長やリピーターの獲得にもつながるものだと思っております。

提案の1つ目ですが、10月上旬にはコハクチョウが飛来してまいります。コハクチョウをはじめとする米子の水鳥たちを鑑賞してもらおう絶好の機会だと考えます。ぜひ、米子水鳥公園をPRして、多くの方にお越しいただきたいと考えますが、見解を伺います。

○**稲田議長** 長谷川市民生活部次長。

○**長谷川市民生活部次長** 米子水鳥公園のPRについてでございますけれども、議員さんのおっしゃいますとおり、コハクチョウをはじめとする水鳥たちを鑑賞していただく絶好の機会であると考えております。市内各所に米子水鳥公園のパンフレットなどを置くなどして、ラムサール条約登録湿地に位置する米子水鳥公園の魅力を市外からのお客様にもPRしていきたいと考えております。また、特典として、選手団IDカードの提示によるネイチャーセンター入場料の割引を行うとともに、米子市実行委員会が検討しておられますタクシー利用補助と組み合わせて集客につなげていきたいと考えております。

○**稲田議長** 門脇議員。

○**門脇議員** 私も全く同じ思いであります。水鳥公園は市街地から少し離れておりますので、タクシー利用の補助は必須だと思います。

提案の2つ目は、米子城跡で行われるダイヤモンド大山観望会であります。まずは、先月になりますが、2月18日に行われた

ダイヤモンド大山観望会の実施状況についてお伺いいたします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 先月行われましたダイヤモンド大山の観望会でございますが、当日は米子市観光協会の事業といたしまして米子市も協力して実施いたしました。この時期には珍しく快晴だったこと、1,000名以上の方にお越しいただき、先着200名に配付を予定しておりました牛骨スープと使い捨てのカイロも全て配り切りまして、追加で用意いたしました牛骨スープも、100名分も全て配り切るなど、早朝にもかかわらず大変盛況であったところでございます。また、民間事業者の方によりますコーヒーですとか米子城跡グッズなどの販売、ホットサンドなどを販売するキッチンカーの出店もございまして、来場者のおもてなしと消費拡大につながる取組を行ったところでございます。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 回を重ねるごとに盛会となりまして、知名度もぐんと上がってきたように思います。

そこで、これまで行われたダイヤモンド大山観望会における反省材料や課題認識についてお伺いいたします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 ダイヤモンド大山観望会には、これまで県内外から多くの方に来ていただいております。そのため、運用面については駐車場の確保が課題としてございましたが、市役所駐車場の無料使用のほか、令和5年度からは鳥取大学の御理解の下、医学部附属病院の有料駐車場をダイヤモンド大山観望会の駐車場

の一つとして御案内させていただいているものでございます。

もう一つの課題といたしましては、来場者の消費行動につながる取組の実施でございまして、現在はキッチンカーの出店などを行ってございますが、さらなる取組の拡大の必要性を考えているところでございます。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 ぜひこれらの課題を解消し、秋の観望会につなげてほしいと思っておりますが、令和6年秋のダイヤモンド大山観望会はいつ頃開催予定なのかお伺いいたします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 令和6年度秋のダイヤモンド大山観望会ですが、10月20日日曜日前後での開催を予定しております。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 10月20日前後ということは、ねんりんピックの期間中でもあります。米子城跡で行われるダイヤモンド大山観望会と時期が重なっております。これを絶好のチャンスと捉え、皆生温泉旅館組合さんや米子市ホテル旅館組合さんなどと連携して大々的に観望会を開催してはと考えますが、見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 おっしゃられますように、ちょうど大会期間中にダイヤモンド大山の時期が重なるところでございます。このことから、米子城跡からの絶景を周知する絶好の機会だと考えているところでございます。ねんりんピックで米子市に来られる方、とりわけ市内に宿泊される方に米子城跡からのダイヤモンド大山観望会をぜひ楽しんでいただきたいと考えております。その

ため、観望会でのおもてなしの内容のほか、各団体の方がダイヤモンド大山に合わせて行う催しを紹介いたしまして、誘客に向けた効果的なPRを皆生温泉旅館組合、あるいは米子市ホテル旅館組合など、関係団体と相談して考えてまいりたいと存じます。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 観光の面においても、また米子市を売り込むのにも絶好のチャンスでありますので、万全の体制をもって皆様をお迎えできるように準備を進めていただきたいと思います。

それでは、この項の最後に市長にお尋ねしたいと思います。本年、ねんりんピックはばたけ鳥取2024が開催されるに当たり、県や関係団体と協力しながらも、市長としてどのようなおもてなしや取組をされるのかお伺いいたします。

○稲田議長 伊木市長。

○伊木市長 このねんりんピックが開催される予定となっております時期は、先ほど来から部局長から答弁がありますとおり、コハクチョウが来ている時期でもありますし、またダイヤモンド大山のちょうど米子城跡から観望できる時期とも重なっておりますので、そういったことをしっかりと案内をしていくということがまずございます。そして、多くの選手や関係者の方が皆生温泉などにお泊まりになられることと思いますので、皆生温泉の魅力をPRしていくということももちろんでございますけれども、牛骨ラーメンやさばしゃぶ、475パフェなどの食の魅力、またサウナですとか、あるいはおいしい水道水など、米子のよさをPRできればよいと思っております。また、小学生以上を対象とする多くの地元のボランティアの皆さんや、来場応援する保育園、幼稚

園児との世代を超えた交流も深めていただきながら、米子に少しでもよい印象を持っていただけるよう取り組んでいきたいと思っております。

○**稲田議長** 門脇議員。

○**門脇議員** ただいま市長からの決意も聞くことができました。ありがとうございました。先ほど市長からもありましたように、皆生温泉、ここには整うサウナ、これに加えまして、周辺には遊歩道が整備され、夜間の景観を楽しんでいただけるようにもなりました。淀江は歴史と文化に根差しております。ぜひとも、これらも含めて堪能していただきたいと思います。ねんりんピックはばたけ鳥取2024の成功を祈念いたしまして、次に移りたいと思います。

大要の2点目は、本通り商店街の在り方についてであります。

アーケードが完全撤去された本通り商店街であります。歩いて楽しいまちづくりの観点から、また米子駅周辺と角盤町周辺をつなぐ重要なエリアという観点から、本通り商店街の今後の在り方についてお尋ねをいたします。

まずは、下水道の整備について、令和6年度以降の計画についてお伺いします。

○**稲田議長** 遠藤下水道部長。

○**遠藤下水道部長** 本通り商店街とその周辺の下水道整備のお尋ねでございますが、全長約880メートルの下水道管路を3つの工事区分に分割をいたしまして、令和6年度に250メートルと400メートルの2工区を、そして令和7年度に残りの230メートルを整備する予定としております。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 それでは、次に、路面の美装化の計画についてもお伺いいたします。また、具体的にはどのような路面にするのかについても併せてお伺いいたします。

○稲田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 路面の美装化についての計画についてでございますが、本通り、市道本通り東線と申しますが、その路面整備につきましては、同市道の下水道整備工事完了後、速やかに路面整備工事に着手する予定としておるところでございます。

具体的な路面についてでございますが、現在、地元商店街関係者と整備イメージや整備内容について協議を行っておるところでございます。具体的には決まっていないところでございます。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 下水道整備工事完了後、速やかに路面整備工事を着手と、こういうことでしたが、これは令和7年度からなのか、あるいは8年度からなのか、このことについてお伺いします。

○稲田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 路面整備工事の着手の時期でございますが、本通りの路面整備工事につきましては、現在のところ、令和7年度の工事着手を予定しておるところでございます。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 下水道の整備は令和6年度から始まり、路面の美装化が令和7年度着手と、こういうことであつたと思えますけども、この工事が始まるまでに、まだそのほかに決めておかねばならな

い事項があるように私は思います。

そこで、まず、地元商店街等から本市に対してどのような要望が提出されているのかお伺いします。

○稲田議長 若林経済部長。

○若林経済部長 地元から出されました要望の内容についてのお尋ねでございます。地元商店街や自治会などから、アーケード撤去後の路面整備等に関して、街路樹やベンチ、水飲み場を市が設置、維持管理するよう要望されております。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 それでは、この要望に対しての本市の考えと、あわせて、この植樹を含めた街路樹の設置についての本市の考えについてお伺いいたします。

○稲田議長 若林経済部長。

○若林経済部長 要望に対しての本市の考えについてのお尋ねでございます。現在、地元商店街と要望内容を含め協議を行っているところでございます。街路樹については地植えで、地植えというのは道路に直接ということなのですが、設置してほしいという要望をいただいておりますが、道路構造上、様々な課題があると考えております。設置場所についても、建物の建て替えの際などに支障となることが想定され、地植えでの設置は適当ではないと考えているところでございます。また、先行してアーケードを撤去された法勝寺通りや元町通りでは商店街が樹木やベンチ、水飲み場などを設置、維持管理されているところでございます。樹木については大きな植木鉢で設置されており、これらを参考にして、引き続き協議をしていきたいと考えております。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 街路樹については、地植えの場合はデメリットが大きいということで適当ではなく、植木鉢などの設置を参考に、引き続き協議を行っていきたいと、こういうことだったと思いますが、では、現在、地元商店街とはどのような協議がなされているのかお伺いいたします。

○稲田議長 若林経済部長。

○若林経済部長 地元商店街との協議の状況についてのお尋ねでございます。地元商店街関係者とは、定期的に話合いの場を設けているところがございます。街路樹をはじめ、照明やベンチの設置について、実施主体や設置、維持管理等の課題などを整理しながら、整備後の商店街のイメージを話し合っているところがございます。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 それでは、質問を少し前に戻しまして、この路面を美装化する前にやらなければならないことについて、このことについてであります。将来のことを考えて、路面整備をする前に地中に電源ケーブルをはわせ、そこから照明などの電源を取るという考えがないのかお伺いいたします。

○稲田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 路面整備に合わせて地中に電源ケーブルをはわす考えはないかというお尋ねでございます。現在設計中でございます市道本通り東線の路面整備内容により、例えばフットライトなど、地中に電源ケーブルを敷設する必要性が生じた際には、手戻りがないよう、路面整備工事と合わせて電源ケーブルを設置

するように考えます。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 ちょっと分かりにくいところございましたので、ちょっと再度質問させていただきたいと思いますが、地中に電源ケーブルを敷設する必要が生じた際とはどのような状況が生じた場合のことなのか、また具体的にお示しさせていただきたいと思いますが、結論として電源ケーブルを敷設するのもしないのか、どちらなのかお伺いいたします。

○稲田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 どのような状況が生じた場合のことを言っているのか、具体的に示していただきたいということでございますが、例えば地中埋め込み式のフットライトなど、地上から直接電源を取ることができない照明器具を設置する場合などにおいては、一部、地中に電源ケーブルを敷設することを想定しておるものでございます。

また、電源ケーブルを敷設するのもしないのかということですが、先ほどから言っておりますように、現在、照明器具の設置の可能性も含めて、具体的な整備内容を地元商店街関係者と話し合っておるところでございます。その結果、フットライトなど地中から電源を取る必要がある器具を設置することとなった場合は、路面整備工事に合わせて一部、電源ケーブルを地中に敷設することとなると考えております。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 ありがとうございます。よく分かりました。路面の美装化が終われば後戻りできませんので、そういうこともきちん

と説明をされて、その上で地元の商店街関係者の皆さんと慎重審議の上、結論を出していただきたいと思います。

次に、歩いて楽しいまちづくりを推進するという観点から、本通り商店街にベンチ、ミスト、街路樹等の設置についての計画について伺いたします。

○稲田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 ベンチ、ミスト、街路灯設置等の計画についてでございます。現在、道路整備のイメージについて、地元商店街関係者と話合いを行っているところでございまして、本通り商店街でのベンチ、ミスト、街路灯設置の計画につきましては、道路の幅員等も含めた物理的制約なども加味しながら、地元関係者の意向を踏まえ、引き続き話合いを行い、具体的な整備内容を決定していきたいと存じます。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 それでは、一步進んで、踏み込まして、道路や広場など、屋外の公共空間に設置される家具などの総称をストリートファニチャーと呼ぶそうではありますが、都会ではこのストリートファニチャーでくつろぐ人たちをよく見かけます。この癒やしにもなる空間を本通り商店街に設置してはどうかと考えますが、見解を伺います。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 ストリートファニチャーの設置についてのお尋ねでございますが、この歩いて楽しいまちづくりを進める上で、歩行者空間などいわゆるストリートファニチャー、ベンチ等、街路設備を設置することが滞在環境を向上させ、これはにぎ

わいの創出にもつながってくるものだというふうに認識をしております。本通り商店街への設置につきましては、道路の幅員の制約などもありますけども、来街者が楽しめ、地元がイメージするような道路空間となるように、引き続き検討してまいりたいと考えております。

○稲田議長 門協議員。

○門協議員 私自身、このストリートファニチャーには大いに期待をしております。検討するということのでございましたので、より前向きな検討を要望しておきたいと思っております。

さて、本通り商店街であります。アーケードが撤去された今、店舗をどけて更地になったところや、店舗を改装、改築されるところが目立ってまいりました。将来のことを考え、あるいは孫、子のことを考え、いつでもお店が再開できるようにしておこうと、こういう考えからだと思われれます。このことを考えれば、時代が変わってきたとはいえ、歩いて楽しいまちづくりと本通り商店街とを融合させた通りにしていかなければならないと考えますが、最後に市長の見解を伺います。

○稲田議長 伊木市長。

○伊木市長 この本通り商店街につきましては、このたびのアーケードの撤去を契機といたしまして、議員御指摘のとおり老朽化した空き店舗の解体や改装など、新たな動きが生まれてきていると認識をしております。市といたしましても、こうした商店街の新たな動きを的確に捉えながら、できる支援を迅速に行っていきたいと考えておりました。今後実施してまいります下水道の整備や路面の美装化などがこれらからの時代に即した本通り商店街の魅

力向上と活性化につながるものとなるよう、引き続き、地元商店街の皆さんと話をしていきたいというふうに思っております。

○稲田議長 門脇議員。

○門脇議員 本日のここまでのやり取りで答弁の中には商店街の関係者の方々と話し合っているだとか協議している、協議中だとかと、こういう内容が多かったように思います。米子市のほうからも商店街の皆さんに寄り添うことはもちろんであります。支援できるもの、できないものをしっかりと説明し、お互いが納得できるよりよい着地点を見いだしていただき、本通り商店街の発展に資する結論を導き出していきたいと思っております。

本通り商店街は大きく生まれ変わろうとしています。大きく生まれ変わった商店街を想像しつつ、また期待をしつつ、私の質問を終わります。ありがとうございました。